

資料 2

西津軽郡深浦町内で確認されたマツクイムシ被害について

平成27年度 白神山地周辺の森林と人との共生活動に関する協議会

平成27年10月7日

津軽白神森林生態系保全センター

平成27年9月17日
農 林 水 産 部

深浦町における松くい虫被害の概要

本年、深浦町広戸地区周辺において発見された松くい虫被害への対応について、概要は以下のとおり。

1 被害の場所等

- (1) 場 所：深浦町大字広戸地区（6箇所）、追良瀬地区（1箇所）
- (2) 被害木：マツ32本（クロマツ23本、アカマツ9本）
- (3) 位置図等：別紙のとおり

2 これまでの経緯

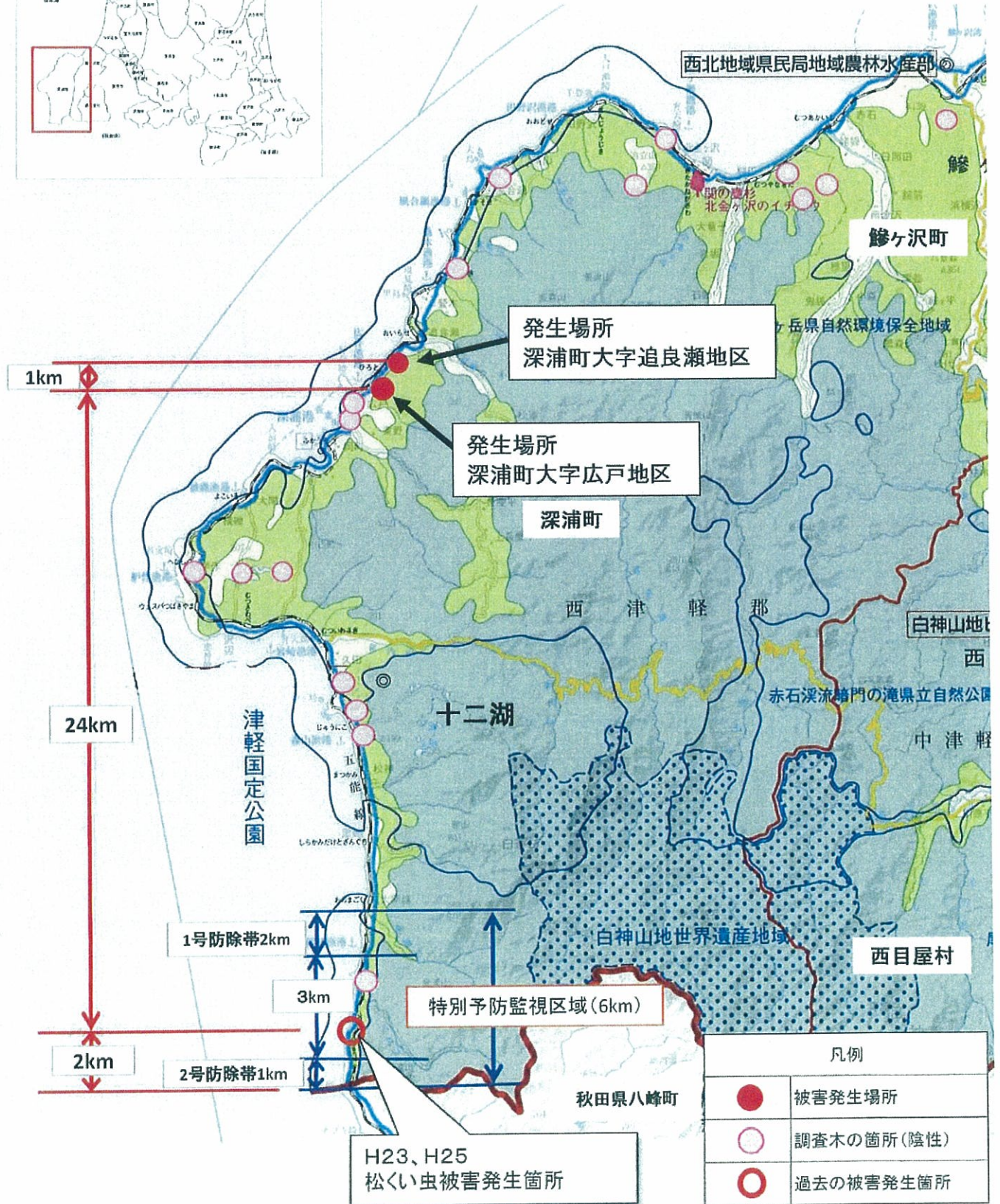
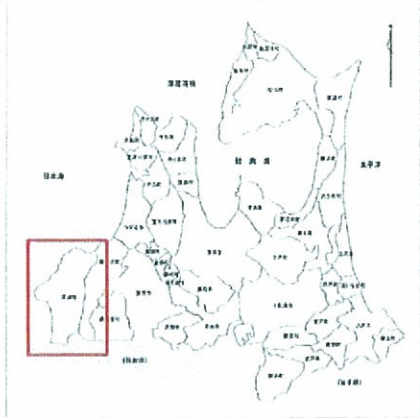
(1) 被害発生及び現在の状況

- ① 県防災ヘリコプターの上空探査により発見した深浦町広戸地区のクロマツ枯死木について、（地独）青森県産業技術センター林業研究所が行った簡易鑑定で陽性反応が出たため、（国研）森林総合研究所に同定を依頼した結果、「陽性」と判明（7月17日）。
- ② 被害木の周辺から秋田県境までの目視調査、県防災ヘリによる鱒ヶ沢町での上空探査、被害木周辺のヤニ打ち調査等の結果、9月4日までに累計32本の被害木を確認。
- ③ 被害木は、全て伐倒・くん蒸処理済み。ヤニ打ち調査でヤニが出なかった異常木についても全て処理中。

(2) 被害対策の検討

- ① 第1回松くい虫被害対策検討会を開催（7月23日）
 - 被害は点的であり、青森県松くい虫被害防除マニュアルに基づき被害木の伐倒・くん蒸処理を徹底すること
 - 秋までの被害動向を把握した上で、対策の検討・確認が必要で、薬剤散布については、慎重に検討すべき
- ② 松くい虫被害専門家対策会議を開催（9月10日）
 - 発生要因については不明だが、県境から拡がったのではなく、突発的なもの
 - 被害木を確実に発見し、伐倒・駆除すること
 - 来年度、被害本数の増加や被害区域が拡大した場合は、新たな対策の検討が必要
 - 広戸地区等の被害を受けたマツ林においては、監視のしやすさや繁殖・感染源除去のため、林内の整理等を行うこと

松くい虫被害発生位置図



凡例	
●	被害発生場所
○	調査木の箇所(陰性)
○	過去の被害発生箇所

深浦町における松くい虫被害の発生



被害木の伐倒・くん蒸処理

簡易鑑定で陽性 **ただちに** 伐倒・くん蒸

森林総研へ同定依頼、7月17日被害が確定



伐倒、材片採取



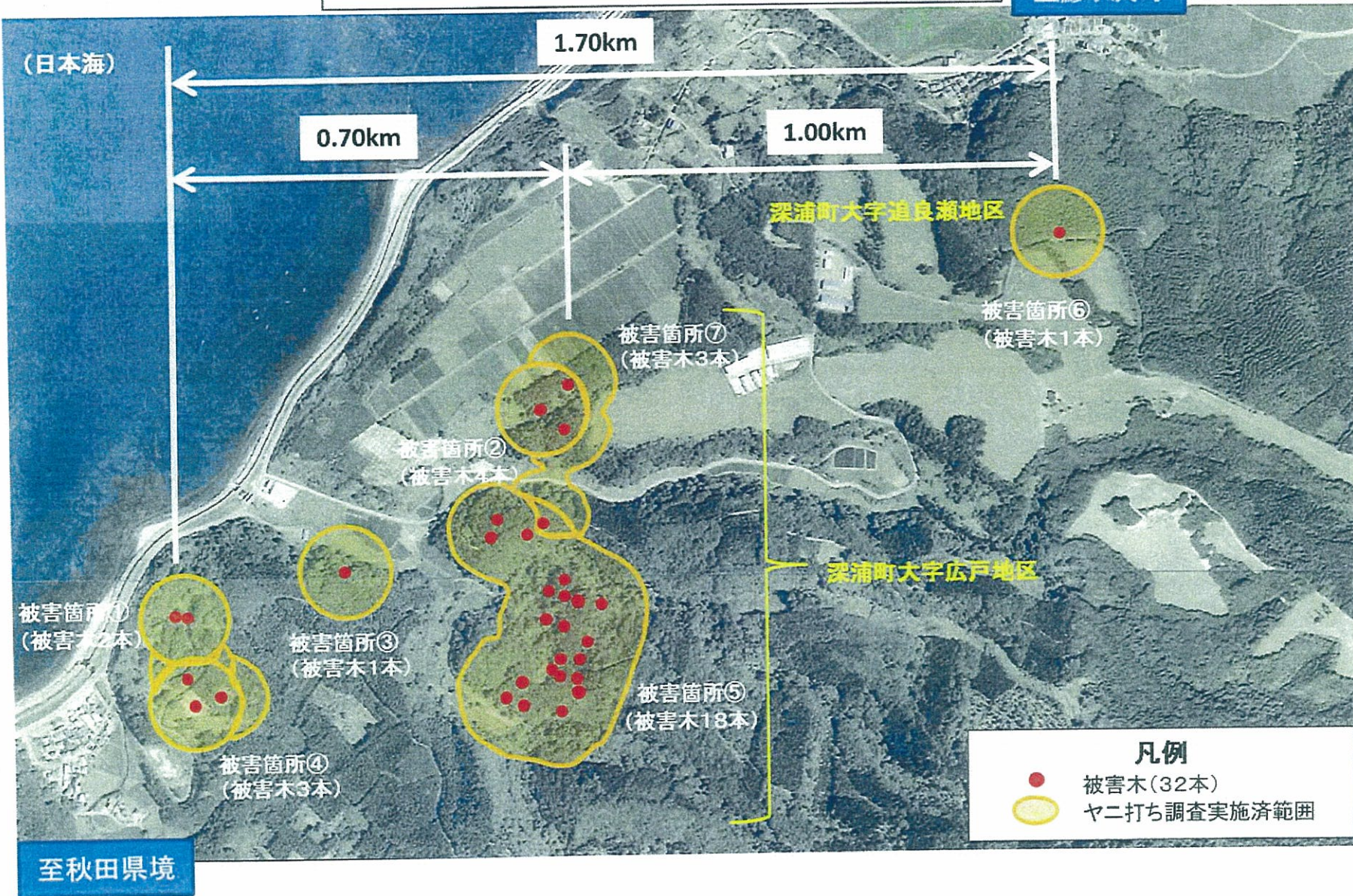
皮はぎ(確認)



くん蒸終了

被害木の位置及びヤニ打ち調査区域図

至鱒ヶ沢町



津軽森林管理署におけるマツクイムシ対策の取組

1. 現状

現在、津軽森林管理署管内においては、マツクイムシ被害は確認されていません。

これまで、疑いのあるクロマツ45本（深浦町）について、森林総合研究所東北支所へ鑑定依頼をしたところ、いずれも陰性との結果となっております。

当署では、被害の早期発見、早期対策のため職員による巡視を実施しているところ
です。

また、青森県と共同で、年に数回、ヘリコプターによる上空からの探査を実施して
いるところです。

引き続き青森県と情報共有しながら、予防対策を進めることとし、森林総研等専門
家の意見を踏まえつつ、関係機関と連携して要望対策を講じていく考えです。

2. 被害発生時の対応

仮に、マツクイムシ被害が発生した場合は、東北森林管理局の担当課と連携を図り、
防除対策をすることになります。

一般的には、被害木の伐倒くん蒸処理による防除対策を行うこととなります。